

2014年度地域研究コンソーシアム 次世代ワークショップ

キャリアパスとしての有期雇用を考える —「縁」にかかわる世界の経験を通して—

企画責任者 伊藤未帆（東京大学東アジアリベラルアーツイニシアティブ 特任講師）

● 地域研究コンソーシアム次世代ワークショップ

日時：2015年2月18日（水）13時30分～17時

場所：東京大学 東洋文化研究所 大会議室

プログラム：

第一部 「それぞれの「キャリア」と有期雇用」

パネル参加者：伊藤未帆（東京大学）、鶴戸聡（鹿児島大学）、後藤絵美（東京大学）、福田州平（大阪大学）

コメンテーター：西野史子（一橋大学）

第二部 「「縁」を通して世界を眺める」

14:45-15:00 谷川竜一（京都大学地域研究統合情報センター）（*都合により原稿での参加）

「人生の節目は建築にあり」

15:00-15:15 後藤絵美（東京大学東洋文化研究所）

「偶然か、必然か——現代エジプトにおける女性たちの「宗教体験」」

15:15-15:30 鶴戸聡（鹿児島大学法文学部）

「〈世界文学〉から外れて——手渡される文学・街に響く歌」

15:30-15:45 福田州平（大阪大学グローバルコラボレーションセンター）

「1876年フィラデルフィア万博と「縁」」

15:45-16:00 伊藤未帆（東京大学東アジアリベラルアーツイニシアティブ）

「縁が結ぶ世界に生きる人々——ネットワークから紐解くベトナム社会」

16:00-17:00 総合討論

● 企画の目的と実施

近年、アカデミックの現場ではいわゆる「パーマナント」ポストが減少し、「有期雇用」という働き方で初期キャリアを形成する若手・中堅研究者の層が拡大しています。「特任」や「任期付き」などと呼ばれるこれらのポストをめぐっては、積極的、消極的さまざまな捉え方があります。キャリアパスが作りにくいというネガティブな見方もある一方で、「有期雇用」を、歴史的文脈や、世界の多文化的環境のなかに置き直して考えてみれば、期限つきで働くという状況にあったからこそ、より多くの知識や技能を獲得したり、能力を発揮しえたりした場合や、短期的により良い人と人、人と組織、人と場所との関係が形づくられたりした場合もあるのではないのでしょうか。

そこで本ワークショップでは、さまざまな地域や時代を研究対象とする地域研究者が集まり、自らの経験も交えながら、期限つきで働くということについて、地域研究の視点から議論することを目的としました。

第一部では、現代の日本社会で有期雇用として働くということについて、当事者その他の視点を含めつつ、キーワードを提示しながら、各自の展望や戦略などを議論するワークショップを行いました。

第二部では、それぞれの研究対象地域をより深く知ることのできる研究素材を持ち寄り、「縁」という概念を一つの軸に置きながら、それぞれの研究分野や研究内容の紹介をまじえて、地域研究が持つ社会的な意義、社会へのひらき、つながりを共有しました。

● 成果：報告書の作成

本ワークショップの成果については、次世代ワークショップでの発表記録をもとに、一部加筆・修正を加えたうえで、報告書形式での小冊子を作成しました。

地域研究コンソーシアム <次世代ワークショップ企画>
キャリアパスとしての
有期雇用を考える
—「縁」にかかわる世界の経験を通して—

近年、アカデミックの現場ではいわゆる「パーマナント」のポストが減少し、「有期雇用」という働き方で初期キャリアを形成する若手・中堅研究者の層が拡大しています。「特任」や「任期付き」などと呼ばれるこれらのポストをめぐっては、積極的、消極的さまざまな捉え方があります。キャリアパスが作りにくいというネガティブな見方もある一方で、「有期雇用」を、歴史的な文脈や、世界の多文化的環境に置き直してみるとそれは異なる見方もできそうです。

本ワークショップでは、さまざまな地域や時代を研究対象とする地域研究者が集まり、自らの経験も交えながら、期限つきで働くということも、地域研究の視点から考えてみたい。

日時：2015年2月18日（水）13:30-17:00
会場：東京大学東洋文化研究所 大会議室

第一部（13:30-） それぞれの「キャリア」と有期雇用
現在の研究者を取り巻く状況に加え、過去の社会制度などで出てきた問題などの中から、有期雇用に関するキーワードをいくつか取り出し、パネル形式でディスカッションを行う。
パネル参加者：伊藤未帆（東京大学） 鶴戸聡（鹿児島大学） 後藤絵美（東京大学）
谷川竜一（京都大学） 福田州平（大阪大学）
コメンテーター：西野史子（一橋大学）

第二部（14:45-）：「縁」を通して世界を眺める
第一群の「パネル参加者が研究対象とする地域や事例における人と人、組織、場所、行為等とのつながり方を、「縁」をキーワードに眺めてみる。世界のさまざまな経験をつづいて、現代の日本社会を相対視して見るとともに、いま自分たちが置かれた状況が、どのような社会的意図を持ち、今後に向けてどのような高まりを持つ可能性があるか、議論してみたい。

入場無料
事前登録不要
学費の公費負担
お申し込み不要

ワークショップのポスター